

土地改良区を元気にする情報紙！



水土里ネット パワーアップナビ



目次

- 地域と共に 水土里ネット鬼怒中央【鬼怒中央土地改良区連合】
- 合併後を訪ねて 水土里ネット日光市【日光市土地改良区】

(写真) 岡本頭首工全景

2015/8

Vol. 7

TAKE FREE

地域と共に

このコーナーでは、地域の農業振興や地域社会との協働・交流活動に取り組んでいる土地改良区を紹介します。

水土里ネット鬼怒中央 (鬼怒中央土地改良区連合)

所在地：宇都宮市中岡本町834-2
理事長：阿久津 勝美
設立：昭和62年2月6日
地区面積：3,008ha
組合員数：3,744名

◆鬼怒中央土地改良区連合の阿久津理事長と事務局の方々から、岡本頭首工をはじめとする農業水利施設の維持管理及び施設見学の受入れについてお話を伺いました。

岡本頭首工について

岡本頭首工は、国営鬼怒中央農業水利事業により、昭和60年に完成しました。現在、職員5名が農業用水路の水量を24時間体制で管理しています。

最近ではゲリラ豪雨等により、水量が一気に増加することもあるため、携帯電話でも水路の状況を確認できるようにし、迅速な対応ができるようにしています。

こうした対応により、受益者との信頼関係もより厚くなったと思っています。



(写真) 岡本頭首工の上空から撮影。鬼怒川両岸は広大な水田地帯であり、岡本頭首工は水の安定供給という大きな役割を担っている。

維持管理の工夫

(1) 施設の維持補修

農業水利施設の維持補修については、10か年計画を作成して資金需要を確認しています。緊急の補修等が必要になることもありますが、おおむね計画通りに効果的な維持補修ができています。

(2) 水路巡回パトロール

国、県、市町及び関係機関の協力のもと、ごみ拾いや支障木の伐採等を年4回実施しています。周辺住民からも非常に好評を得ています。



(写真) 水路巡回パトロールの様子

(3) PR活動

地域の催し等で、土地改良区連合の活動について写真を展示し、農業水利施設の維持管理の重要性を伝えています。



(写真) 土地改良区連合の活動をPR

施設見学の受入れ

施設見学の受入れは、平成22年から実施しています。学生のほか、全国の土地改良区や海外から訪れる見学者もおり、岡本頭首工や高架水槽等を案内しています。



(写真左) 授業の一環として施設見学に訪れた宇都宮大学の学生たち。授業後に提出されたレポートには、実際に施設を見た感想がびっしりと書かれていた。

(写真上) 土地改良区連合職員による岡本頭首工の操作等の説明を聞く宇都宮白楊高校の生徒

要望及び今後の展望

(渡邊管理課長) 水路脇にフェンスを設置しています。これは、水路転落防止等の安全管理に必要な施設なので、大切にしてください。

(阿久津理事長) 米価の低迷や農家の後継者不足という状況にあります。工夫を重ねて施設を守っていくことが土地改良区連合の存在意義だと思います。

(写真) 水路脇に投棄されたごみ



合併後を訪ねて

このコーナーでは、合併に至るきっかけや合併後の土地改良区運営について紹介します。

水土里ネット日光市
(日光市土地改良区)

所在地：日光市大室991
理事長：田井 哲
設立：平成21年4月1日
地区面積：2,583ha
組合員数：2,344名

◆日光市土地改良区の田井理事長と渡邊事務局長から、日光市土地改良区の合併についてお話を伺いました。

合併のきっかけ

旧今市市内には、以前14の土地改良区があり、これらの土地改良区の事務のほとんどは、今市地区土地改良区協議会合同事務所で行っていました。

しかし、賦課金の徴収、総会(総代会)の資料作成、土地改良区検査対応等、事務量は年々増加し、合同事務所の負担も増しました。

こうした状況を知る複数の土地改良区の理事から、事務量を低減するためには、合併が必要であるとの声があがりました。

合併への道のり

平成18年6月、今市地区土地改良区協議会総会において、合併推進が決定しました。

それから、同年11月に合併推進協議会を設立し、8度の協議を重ね、平成21年4月、当時存続していた11土地改良区が合併し、日光市土地改良区が誕生しました。

その後、平成25年4月には、堰場川土地改良区を吸収合併し、現在は日光市内で唯一の土地改良区となりました。

【合併に至る経緯】

平成18年6月 今市地区土地改良区協議会総会において合併推進を決定

同年11月 今市地区土地改良区合併推進協議会設立総会

平成19年1月
～
平成20年10月 } 合併協議会を8回開催

平成20年11月 合併予備契約調印式

平成21年3月 日光市土地改良区設立委員会開催

同年4月 日光市土地改良区設立

平成23年5月 日光市土地改良区合併推進協議会設立総会

同年7月
～
同年11月 } 合併協議会を2回開催

同月 合併予備契約調印式

平成25年4月 日光市土地改良区による堰場川土地改良区の吸収合併認可



合併後の事務

事務量の低減という、合併の目的は達成できと思います。

また、組織が大きくなったので、広報紙による土地改良区の活動報告を行ったり、地区委員会を通じて地域の要望に応える等、コミュニケーションを重要視しています。



合併に必要なこと

(田井理事長) 他の役員や組合員に合併の必要性を意識させるため、役員が積極的に声をあげることが重要です。役員は、次世代の農業者を考え、農業への危機感を持つ必要があります。

(渡邊事務局長) 旧土地改良区の賦課面積等のデータを整理していたので、合併後の事務処理をスムーズに進めることができたと思います。



～編集後記～

鬼怒中央土地改良区連合及び日光市土地改良区の役職員の皆様、御協力ありがとうございました。紙面をお借りして心より感謝申し上げます。

今後も分かりやすい紙面づくりを心掛けてまいりますので、御感想や御意見等がありましたら、下記までお寄せください。

栃木県農政部農地整備課 〒320-8501 宇都宮市埜田1丁目1番20号 TEL028-623-2357 FAX028-623-2378

水土里ネットパワーアップナビ 平成27年8月発行